

菅の新自由主義路線と対決し、 民主主義的社会主义に進もう！

菅政権は、就任早々日本学術会議会員任命で6名拒否という、憲法23条「学問の自由はこれを保障する」違反を行いました。安倍が集団的自衛権行使容認を行ったと同様、憲法を平然と踏みにじています。

菅政権は「私が目指す社会像、それは「自助・共助・公助」。そして「絆」だ」と言っています。この意味は政府は市民の生活を支えないということです。コロナ危機で生活不安にさらされている市民に対し自分で解決しろと言っているのです。

この菅政権のブレーンが竹中平蔵パソナ会長です。竹中は派遣労働者を大幅に増やす方針を小泉政権の時に作り、その受け皿としてパソナを儲けさせ、現在も儲けさせ続けています。

また菅政権は、施政方針演説で原発の推進、辺野古新基地建設推進を述べました。

MDS 集会では、この菅政権の政策を検討していきます。菅政権が新自由主義政策を徹底して進めること、そのための手段として人事権を行使すること、マスメディア支配を徹底しようとすることを明らかにします。

対案は、民主主義的社会主义であることと展望を基調講演で打ち出します。

また、コロナ対策の具体的検討と今後の方針について医療問題研究会の医師が講演を行います。

みなさん、ぜひご参加ください。

11月22日(日)13:30~ 枚方市民会館

●基調講演

資料代 500円

『菅の新自由主義路線と対決し、民主主義的社会主义に進もう！』

●特別講演 医療問題研究会の医師からのお話

『企業利益優先の検査体制・ワクチン・治療薬政策ではなく、科学的
コロナ対策を！』

●発言&交流タイム

「MDS18政策」の実現を！ グループ討議 etc

★主催:MDS(民主主義的社会主义運動)★ <http://www.mdsweb.jp/>